



夏の人気者が今年もやって来た(7/18)

おらが浜鐵道応援団報

第100号

祝・創刊100号達成
勝田 阿字ヶ浦

夏の沿線はイベント盛りだくさん

夏本番を迎え、浜線沿線ではたくさんのイベントが予定されています。中でも八朔祭りや那珂湊・ひたちなか花火大会の開催時と、お盆の期間中は交通規制とともに周辺道路は大きな渋滞が予想されます。沿線イベントへのお出かけは、確実な時間に到着できる浜線をご利用ください。

8/6(木)~9日(日)・メイン8日、9日 天満宮御祭礼(八朔まつり)

今年の年番は牛久保町。6日昼間は年番町お宮参りで行方が那珂湊駅に立ち寄ります。7日は夕方から天満宮で例大祭が執行されます。

メインの8日・9日は8台の山車と、ささ・みろくが出演。両日の昼間には各町の山車が那珂湊駅に立ち寄り、山車が一堂に行列する8日の神幸祭は明神町出発、9日の遷御祭は和田町を、いずれも午後6時に出発します。また、御神輿のお浜入り(那珂湊小型船漁港)は9日朝6時からおこなわれます。

8/11(火) 那珂湊海上花火大会 8/22(土) ひたちなか祭り花火大会

7月26日の阿字ヶ浦海岸花火大会に続く、2つの花火大会とも浜線では増車・増結して、お客様の輸送に対応します。最寄駅は海上花火大会が那珂湊駅、ひたちなか祭り花火大会が日工駅または金上駅。いずれも午後7時より開催、悪天候の場合の予備日は翌日です。

応援団では海上花火大会で、当日発行の乗車証明書を持参したお客様に会場で優先席をご用意します(先着約100名様)。

8/9日~30日(日) MMM2015 みなとメディアミュージアム

今年で7回目の開催になる「みなとメディアミュージアム」(MMM)は、那珂湊駅構内や商店街の空き店舗を会場にした現代アートプロジェクトです。

22組のアーティストが絵画や彫刻、版画、映像などをさまざまな手法と感覚で表現します。何気ない街角の作品が、ふだんは見逃してしまっているまちの魅力を伝えてくれます。8月9日から30日までの期間中は、土日を中心にワークショップやパフォーマンスも開催されます。また、大学生によるコミュニティカフェが駅前通り沿いの古民家を利用して開店します。

作品鑑賞は10時から18時まで。どの会場も入場無料です。展示会場や作品情報は、MMM公式HPで更新されるほか、8月上旬には詳しい小冊子が那珂湊駅などで配布されます。

◎公式HP <http://minato-media-museum.com>
主催 みなとメディアミュージアム実行委員会
共催 海浜鉄道・ひたちなか商工会議所・応援団・常磐大学・宝塚大学東京メディア芸術学部
後援 ひたちなか市・ひたちなか市教育委員会



まちの魅力を今年も伝えたい

MMM2015 代表 浅野 嶺さん

みなとメディアミュージアム(MMM)に参加したのは2014年度のことです。期待と不安を感じながら、浜線に揺られてやってきた那珂湊でした。

最初は友人らと作品を展示する作家兼、MMM運営メンバーとして活動していました。

四郎介稲荷神社さんの古い伝説を元にした作品を作り、この街の歴史の深さを垣間見つつ那珂湊のまちにどっぷりとりつかり、人々と触れ、共に頑張っているうちに、いつの間にかこのまちにすっかり魅了されていました。

みなとメディアミュージアムは、小さなアートプロジェクトですが、このまちの隠れたそんな魅力を掘り起こす大きな力があると思います。

何かのご縁かもしれません。実は祖父の家が水戸にあり、この活動を始めてからは会う機会も増えました。祖父は絵手紙をしており、祖父の絵手紙仲間の方も今年のMMMに作品を出展されます。人と人とのつながりは意外なことにもあるもので、遠回りしつつも自分の好きなまちへ貢献できていると感じています。

今年は那珂湊第一小学校で出前授業を行い、子どもたちと作品づくりを行ったりと、さらに那珂湊とのつながりを深める取り組みを行ってきました。MMM2015 が那珂湊をもっと素敵にすることを願って、「自分のようにこのまちの魅力にやられてしまおう人を出してやる!」くらいの気持ちで、MMMメンバーのみんな、那珂湊のみなさまと頑張りたいと思います。



新ポストカードを8月から販売

応援団オリジナルの新しいポストカード32種類を8月上旬から販売します。3版目となる今回のポストカードは、浜線の旧型車を中心とした写真に加えて、人気の駅猫・おさむ、ミニさむの5枚組セットと、浜線絵手紙応援隊のご協力による浜線10駅の駅名標をスケッチした絵手紙のセットなどを用意しました。販売は土日に応援団員が那珂湊駅にいる時は応援団ブースで、平日は那珂湊駅窓口でおこないます。販売価格は近く発表いたします。

野菜と干物の朝市

毎月第一日曜日に開催
■日時 8月2日(日)
午前9時~11時頃まで
■那珂湊駅1番線ホーム ※入場は無料です。

夏バージョン お求めは那珂湊駅窓口で
応援券&硬券フリー切符
発売中! セット価格1,000円



ハマグキ花壇の整備
ありがとうございました(7/11)

駅名	8月2日(日)	9月6日(日)
中根	柳沢美田多・相金・三反田班	
高田の鉄橋	柳が丘・関戸町・田中町自治会	
那珂湊	神敷台 部田野小谷金 十三奉行	湊中央 湊本町 商店街
殿山	和田町・殿山町	七町目牛久保町
平磯	平磯・平磯清水町自治会	
磯崎	磯崎町自治会	
阿字ヶ浦	阿字ヶ浦自治会	

「応援団報」が創刊100号を迎えました!



平成19年4月から毎月発行を続けてきた、おらが浜鐵道応援団の「応援団報」が、創刊以来8年3か月の今月号で、第100号の節目を迎えることができました。この間、廃線の危機、海浜鉄道の誕生、大震災による長期間の運休、浜線開業100周年、52年ぶりの新駅誕生など浜線を取り巻くさまざまな出来事がありました。地域をはじめ多くの皆様によって海浜鉄道と応援団が支えられてきたことを実感しております。改めて厚くお礼申し上げます。今後も地域の足、まちづくりの核として浜線を活かしていくよう取り組んでいきたいと思っております。(おらが浜鐵道応援団)

応援団報100号記念 読者プレゼント!

- facebook、応援団HPをご覧の方も応募できます
- ①【ひたちなか海浜鉄道賞】
アクアワールド大洗入場券(おとな)+
応援券&硬券一日フリー切符各1枚×10本
 - ②【おらが浜鐵道応援団賞】
新ポストカード32枚組フルセット×10本
 - ③【応援団写真部賞】
浜線ベストショットパネルプリント1点×5本
 - ④【特別賞】
ひたちなか産さつま芋(べにあすま・5kg)×3本
※④は市外から応募の方に限ります。
 - ⑤【100号記念賞】
海浜鉄道特製クリアファイル1枚×20本

【創刊号】(平成19年4月)

「乗って残そう浜線」を合言葉に、自治会や高校生、各種団体が立ち上がり、浜線の存続と利用促進に向けて19年1月に「おらが浜鐵道応援団」が結成されました。4月には「応援団報」を創刊、浜線を考えるシンポジウムや自治会による駅の清掃開始を伝えました。

【海浜鉄道開業】(平成20年4月・第13号)

海浜鉄道設立によって、4月1日新生浜線が誕生。開業式の那珂湊駅は人で溢れました。また、新社長には公募で選ばれた吉田千秋氏が就任、団報へは「年間輸送人員70万人以上を目指す」と、控えめなメッセージを寄稿しました。

【大震災で全線運休】(平成23年4月・第48号)

開業3周年、年間輸送人員80万人達成を目前にして浜線も大きく被災しました。運休は約4か月に及びましたが、浜線と町の復興に向けて地域の「絆」が深まりました。列車の走らない駅ではライブや野菜市が開かれ、浜線復活への義援金募集も始まりました。

浜線沿線の「いま」がわかる! 応援団facebookページ「いいね!」4,210名を達成しました!

- 【海浜鉄道関係】
 - ◆ホームページ <http://www.hitachinaka-rail.co.jp>
 - ◆ツイッター <http://twitter.com/minatoline>
- 【応援団関係】
 - ◆フェイスブック <http://www.facebook.com/MinatoLineSupporters>
 - ◆ツイッター <http://twitter.com/keha601>
 - ◆応援団HP <http://minatosen.com>(浜線どっと混む)

※「ひたちなか海浜鉄道」「おらが浜鐵道応援団facebook」でそれぞれ検索もできます。

- ◆応募方法 ハガキに①~④の希望賞品名と住所・氏名・連絡先電話番号またはメールアドレスを記入の上、下記宛先までご応募ください。⑤の「100号記念賞」は応募者全員から抽選いたします。
- ◆応募先 〒311-1222 ひたちなか市海門町2-8-13 ひたちなか商工会議所那珂湊支所内 応援団読者プレゼント係
- ◆応募締切 平成27年8月31日 当日消印有効
- ◆抽選・賞品発送 応募締切後、厳正な抽選の上、9月下旬発送します。③と⑥については通知しますので、那珂湊駅窓口で賞品の交換をお願いします。